

【指定就労継続支援 A 型事業所 経営改善計画書】

事業所名称	ルートサポート昭和通り		代表者指名	福原 貴史	
事業所所在地	長崎市昭和1丁目8-21 昭陽ビル101				
連絡先	電話番号	095-894-4480		FAX番号	095-801-8985
職員数	6 定員	20 利用者数	20 (うち身体 4 知的 7 精神 8 その他 1)		
事業所の設置主体	民間企業			設立年月日	2016/9/1
改善計画期間	H30年 4月 1日 ~ H31年 3月 31 日 (1年間とすること)				

1 現在、指定基準第192条第2項を満たすことができていない理由と具体的改善策

(詳細かつ具体的に記載すること)

(未達成理由)	(具体的改善策)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の人数が揃うのに時間を要し、大きいロットでの作業の確保ができていなかった。(取引先の求めている、納品期日、納品数を合わせることができないので) ・単純で簡単な作業が多く数はこなせているが、単価の高い作業をするまでのスキルアップが図れなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員は揃ってきているので、取引先に再度、ロットの商談を行っていく。ギフトBOXに関しては、施設内で行うより先方の向上にて作業をした方が単価も高いので、施設外作業としてさせてもらえないかの話も進めていく。

2 現在の事業内容及び計画期間を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	計画期間を通じて実施する事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ギフトBOXの作成 ・ハーネスの作成 ・チラシの封入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギフトBOXの作成、チラシの封入れ ・ポスティング、ゴミの分別作業・農協との連携にての施設外作業(みかんの選果及び収穫) ・グリストラップ(専門職員を一名雇い、開拓及び立ち上げを行う)

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性(どのような資格、経験等を持った者が担当するか等)について詳細に記載すること

3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び計画期間を通じて達成する事業収入目標額(1年間の額を記載)

現在の収入額	計画期間を通じて達成するべき目標収入額
630,457 円	14,168,000円
(主な費目) 工賃	(積算根拠) 平均利用者数18人×平均労働時間4時間×時給762円×平均利用日数20日×12か月

(注) 目標収入額は、「平均利用者数×平均労働時間×最低賃金額×平均利用日数×12か月」以上の額でなければならない。

4 現在の生産活動に伴う経費及び計画期間を通じて達成する必要経費の見込額(1年間の経費を記載)

現在の経費	計画期間を通じて見込まれる経費
16,987 円	500,000 円
(主な費目) ・施設外の現場に行くための燃料代	(積算根拠) ・現在の施設外一つでの、燃料代を、今後3カ所にするため → 500,000円(現在は遠方に行っていたため少し高かったのも加味して) ・グリストラップの洗剤→100,000円

5 生産活動に係る事業の収入ー生産活動に伴う必要経費

現在の「収入ー経費」	計画期間後の「収入ー経費」
613,470 円	13,668,000円

6 現在の利用者の総賃金額及び計画期間後の利用者の総賃金額

現在の支払い総賃金額	計画期間後の支払い総賃金額
4,770,705 円	13,167,360 円
(積算根拠) 平均利用者数10人、平均労働時間4時間、時給739円、×6か月	(積算根拠) 平均利用者数18人×平均労働時間4時間×時給762円×平均利用日数20日×12か月

事業所代表者署名欄 福原 貴史

印

※「現在」はいずれも、指定基準192条第2項を満たさないと判断された前年度1年間のものを記載すること。
※その他、社会福祉法人会計基準に基づく会計書類等、地方公共団体が必要と認める書類を添付させること。

経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
生産性の向上	スキルアップ、大口での取引	H30. 4. 1～H31. 3. 31	・現状、取引日数が少ない事より単価の低い作業を回されている状態になっている。半年経過したので、高単価の商品の話をしていく。また、先方の工場にて作業を行うことにより、商品の単価、数の向上が見込めるので、その点の話をまとめていく。開設時より、作業に対する考え方を高い段階を平均値化できているので、新しく入ってきた利用者に関しても、平均値を下げないようにしていく。スキルアップの為に、定期的に先方の現場に職員が出向き、職員のスキルを向上させる。また、以前先方にて働いていた職員もいるので、その職員をメインにし生産性を高めていく。
新規事業	立ち上げ・販路拡大	H30. 10. 1～H31. 3. 31	立ち上げを行うにあたって、現場研修を行いに行きノウハウを取得していく。販路に関しては、九州でも二社（福岡）しか扱っていない特殊な清掃方法の為、そこを武器に営業を行っていき販路の拡大を行っていく。作業自体は1～2時間で、単価が15,000～25,000と高い為、専任の人員と数をこなしていく。

(注) 経営改善を行う項目(例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等)を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的な改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。

(計画期間中の見込額)

(千円)

平成30年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益	750	800	1100	950	950	1060	1100	1208	1400	1650	1550	1650	14168
	就労支援事業活動収益計	750	800	1100	950	950	1060	1100	1208	1400	1650	1550	1650	14168
費用	就労支援事業販売原価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	期首製品(商品)棚卸高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当期就労支援事業製造原価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当期就労支援事業仕入高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	期末製品(商品)棚卸高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業販管費	18	18	26	30	29	40	38	48	51	65	67	70	500
	就労支援事業活動費用計	18	18	26	30	29	40	38	48	51	65	67	70	500
就労支援事業活動増減差額		732	782	1074	920	921	1020	1062	1160	1349	1585	1483	1580	13668
支払い資金総額		1097	1097	1097	1097	1097	1097	1097	1097	1097	1097	1097	1097	13167

(前年度実績)

(千円)

平成29年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益						0	22	50	82	110	204	163	630
	就労支援事業活動収益計						0	22	50	82	110	204	163	630
費用	就労支援事業販売原価						0	0	0	0	0	0	0	0
	期首製品(商品)棚卸高						0	0	0	0	0	0	0	0
	当期就労支援事業製造原価						0	0	0	0	0	0	0	0
	当期就労支援事業仕入高						0	0	0	0	0	0	0	0
	期末製品(商品)棚卸高						0	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業販管費						2	5	1	2	1	1	6	17
	就労支援事業活動費用計						2	5	1	2	1	1	6	17
就労支援事業活動増減差額							-2	17	49	80	109	204	157	613
支払い資金総額							93	388	729	876	819	846	1020	4771